

今、地方のオリエンテーリングは

山形県巡回大会
山形場所から

武石雄市

2日間で3レース。山形県巡回大会は東北地方での貴重なレースを提供してくれる。

山形からの発信

首都圏から離れている地方のオリエンテーリング大会は、今やその火が消えそうである。

20~30年前は、どんな小さな田舎町でも最低、年に1回はオリエンテーリング大会が開かれていた。

教育現場が週休2日制となり、子供達に健全な野外活動を指導・実践する絶好の機会と捕らえている各種の団体が、そのイベントを模索しているようだが、普及に悩んでいるオリエンテーリングの世界こそ乗り出すべきではないかと考え、山形県協会の名を使って県内3地方に大会を計画し実践中である。

なかなかローカル大会まで足を伸ばしてくれる参加者は少なくなった。

米沢場所も予想以上に少なかったし、山形場所はどんなオリエンテーリングイベントにも対応できるテレインでもあるし、2日間に3レースをやれるようにレースの数を増やしてオリエンテーターを一人でも多く呼び込む作戦に切り替えた。

地図は、「琵琶沼」が断裁しないで800枚ほど印刷屋に保管してあるので、たとえ参加者が少数でも全てのコースを印刷する事にし、いつものように準備に入った。とは、言っても、大会日の当日以外あらゆる準備は一人なので、この時期山形名産のさくらんぼ収穫手伝いで、実はぎりぎりの時間でした。



ゴール後に寄りかかった柵が
酒井佳子の体重で傾く？

第1レース

学生は夏休みに入ってるかもしれないが、社会人の便宜を考えて、1日目はショートコースでトップスタート時刻を11時にした。

それでも、長野から参加の元木夫妻は、到着がスタートぎりぎりかもしれないと事前連絡があった。

第1レース参加者40名、受付に、遅れ到着者は居ない様だったが、指定スタート時刻に遅れた者が居た。原因は、コントロールカードの携行間違いで引き返ったからである。受付で3レース全てのコントロールカードを渡したので、確認をおろそかにするとこんなへまをしてしまうのだ。更衣所からスタート地区まで走ったら1分程度なので大きなロスにはならなかったが今後も有り得る事なので気をつけましょう。

ウイニングを30分にしていたが、暑さの影響？かゴールタイムが伸びている。

それでも、M21A 禅州拓の36:12、W21A 酒井佳子が46:44なので、いつも家族から言われているように筆者のコースはきついのだろうか。



暑かったが、最後まで走って
頑張った渡辺幸(8歳)

第1レースの個人上位成績

M21A		
1	禅州拓 東北大 OLC	36 : 12
2	山口尚宏 JANETS	43 : 14
3	四俣 徹 東京クラブ	43 : 39
W21A		
1	酒井佳子 大館市	46 : 44
2	元木友子 Team 白樺	52 : 29
3	大里真理子 SKI-O 研	63 : 50
M40A		
1	三澤儀男 日立工機 O	58 : 51

2	荻田育徳 OC 下野	68 : 21
3	松橋徳敏 つるまい O	69 : 11
M20A		
1	高橋元気 東北大 OLC	85 : 04
M12		
1	渡辺 幸 愛宕小学校	72 : 02
2	高山勇樹 南原小学校	80 : 18

第2レース

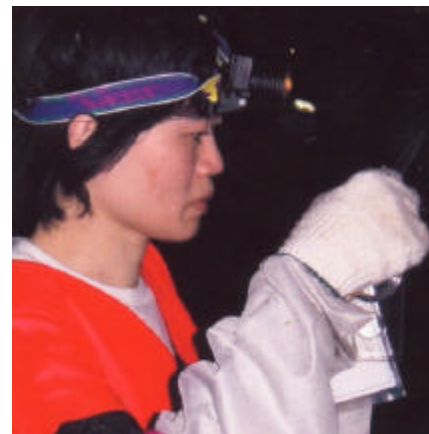
第2レースはナイト0である。参加者は、宿舎で夕食を済ましてから車に乗り合わせてスタート時刻の20時まで集合する事になっていた。

今回のナイト-0は宿舎に引き上げる時間の関係でマススタートで制限時間を30分とするスコア大会としてゴールタイムオーバーは5分で失格する厳しいルールになっていた。

スタート時刻10分前に筆者は、娘婿二人とスタート準備を整えたがスタートエリアに集まったのはバラバラと数人だけ、なんだか解らないがアクシデントがあったのだろう。だが、スタート時刻を繰り下げる余裕はない。予定の時刻にスタートチャイムは鳴らした。

遅れてスタートエリアに到着した者も2グループに分かれていた。何があったのだろう。

残り時間が少ないけれどナイト-0は暫くぶりだから一つでもいいから行って来たいと真つ暗な公園に飛び出していく。



大里は手袋で武装

今回のナイト-0 テレインは遊歩道がネット状になっているので、日中でも地図の正置をおろそかにするとロスの可能性があるところ、夜間といえども思いっきり走れるし、いつか時間も

たっぷりってナイト - 0 選手権でも開きたいなー。

成績上位者は以下の通りである。

最高得点者の元木悟氏はさすがに事前に配布したコントロールカードの配点を研究していて、制限時間内にセッターの予想以上の得点をした。



第2レース上位者

M21A

1 元木 悟	Team 白樺	330 点
2 山口尚宏	JANETS	260 点
3 赤池勝哉	かすいち俱	160 点
3 細谷健一	山形県協会	160 点

W21A

1 高村近子	JANETS	90 点
2 大里真理子	SKI-0 研	20 点
白鳥桂子		-180 点

M40A

1 松橋徳敏	つるまい	150 点
2 高野健治	郡山市	30 点
荻田育徳		-20 点



地図を見ないでどんな秘策

第3レース

縮尺 1:15,000 を B-4 サイズに収めている 1 枚の地図での 3 レース。

主たる役員が子連れの家族のみなので、スタート & ゴールの場所を分散を

避け照明器具も三者三様た。

1 度の大会参加経験もない 2 女の婿も、今では、どんなパートもこなせるまでになり本当に助かる。

可能性が 4 年前の調査なのでかなり無理があったが、どうしても保管中の地図を無駄にしたくなって使ったが、参加者に違和感を与えた事は陳謝します。

募集要項では、第3レースも早朝スタートでショートの出込みしたが、参加者と役員の大半が宿泊した宿舎の食事時間の都合で午前中たっぴり使うミドルレースに変更した。

実は、今回使用しなかった西側半分近くが可能性や地形、特徴物等 E~N クラスまでのコースが取れるのだが、調査に甘い部分があり、少人数運営のレイアウトに無理を生じるので今度の調査して地図が完成するまで待っていたくことにしているが、開催トレインがなくて困っているクラブや協会、或いは CC リレーの関係者から申し出があれば、喜んで案内します。

地図の全般は、別項添付の「桐蔭学園総合学習」を参照してください。又、何かの機会に書いたと思いますが、

SKI-0 の様々なトラックが切れるので、将来、日本で国際大会を開催しなければならない時のトレイン有力候補地でもある。広いエリアだが、冬のクロカンスキーコースを意識して、右の写真に見える車道も公園専用のオーバーパスで連絡されているので非常に使い勝手が良い。

サイクリングロードもかなりの距離に設置されているが殆ど利用者が居ない。これらを利用したマウンテンバイクオリエンテーリングも面白いレースコースが取れるものと思います。

さて、第3レースの A クラス 1 位には、賞品にこの秋収穫する山形産の富士リンゴを発送する美味しいレースである。

この日も、一部同乗した車のアクシデント発生で心ならずもスタート遅延になってしまった数名が居りましたが、ほぼ順当な結果ではないでしょうか。

次回の東根場所の優勝者には、これも美味しいラ・フランスが賞品です。

ご期待ください。

第3レースの成績

M21A

1 禅州 拓	東北大 OLC	52:54
2 堀江守弘	東北大 OLC	56:30
3 四俣 徹	東京クラブ	58:23

M40A

1 三澤儀男	日立工機 OL	1:08:04
2 荻田育徳	OC 下野	1:18:11
3 松橋徳敏	つるまい OL	1:24:11

W21A

1 元木友子	Team 白樺	1:09:16
2 酒井佳子	大館市	1:09:58
3 高村近子	JANETS	1:15:38



ゴールしたら先ず水飲みだ